一般演題(口述)プログラム　10 月 21 日(土)　第 3 会場

9:00 ～ 10:00　ADL　1

座長：藤岡竜也(総合リハビリテーション伊予病院)

O76-01　環境調整により食事動作獲得に至った回復遅延型ギランバレー症候群の一例
長坂 さゆり(藤田保健衛生大学七栗記念病院リハビリテーション部)

O76-02　回復期リハ病棟におけるトイレ介助度と各種スケールとの相関
～着座まで見守りとカーテン越し見守りの判断基準～
菊地 健太(医療法人渓仁会　札幌西円山病院　リハビリテーション部　理学療法科)

O76-03　排泄動作における自立度判定における現状の問題点
木村 友一(あいちリハビリテーション病院)

O76-04　回復期脳血管障害患者における排泄関連動作自立に影響する因子の検討
山下 美希(医療法人　和同会　宇部西リハビリテーション病院)

O76-05　痙攣重積発作により遷延性意識障害を呈した症例
～トイレ動作が家族介助可能となり自宅退院した一症例～
副島 和実(医療法人社団　健育会　竹川病院　リハビリテーション部)

10:00 ～ 11:00　ADL　2

座長：加藤みゆき(藤田保健衛生大学七栗記念病院)

O77-01　トイレ動作獲得に難渋した症例に対する動画フィードバックの有効性
～運動学習理論に基づく一考察～
鶴嶋 多聞(熊本リハビリテーション病院　リハビリテーション部　作業療法科)

O77-02　下部尿路機能と外出機会について
安部 美咲(社会医療法人敬和会　大分リハビリテーション病院)

O77-03　立位での下衣上げ下ろし動作能力向上を目標としてロボットスーツ HAL を使用したが、効果が得られなかった脳卒中患者の一症例報告
郷上 東(医療法人社団　三喜会　鶴巻温泉病院　リハビリテーション部)

O77-04　口腔周囲の過敏、口部顔面失行、不快な経験により口腔ケアを拒否する患者に対する看護介入の一考察
小畑 康平(聖マリアヘルスケアセンター　回復期リハビリテーション病棟)

O77-05　患者のＦＩＭの値と入浴移行の関連性について
築道 光太(医療法人社団清風会　廿日市記念病院　看護部　介護科)

一般演題(口述)プログラム　10 月 21 日(土)　第 3 会場

11:00 ～ 12:00　ADL　3

座長：貝沼綾子(医療法人真正会　霞ヶ関南病院)

O78-01　リハビリ病院における ADL 拡大に向けた援助
～体調不良を繰り返すＳ氏へのケアプラン立案による関わり～
増田 美里(宝塚リハビリテーション病院)

O78-02　効果的な排泄介助の取り組み～1 症例を通して～
西垣 灯(医療法人藤井会　藤井会ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ病院　看護部)

O78-03　尿道カテーテルの抜去に向けた排泄ケアチームにおける作業療法士の役割について
排尿自立指導料算定対象患者の検討を通して
篠原 美穂(杵築市立山香病院　リハビリテーション科)

O78-04　入所者と家族の不安解消と介護負担を軽減し在宅復帰を可能にした１症例
當山 拓海(医療法人タピック　介護老人保健施設亀の里)

O78-05　パーキンソン病による姿勢異常によって食後嘔吐を呈していた事例に対し改善を目指した一症例
成田 司(特定非営利活動法人ＨＰＴ　ポット東)

13:00 ～ 14:00　ADL　4

座長：高橋佑弥(医療法人社団　輝生会　船橋市立リハビリテーション病院)

O79-01　橋出血患者に対する食事動作へのｱﾌﾟﾛｰﾁ～自己摂取を目指して～
土谷 冴花(熱川温泉病院　リハビリテーション部)

O79-02　排泄動作を獲得し在宅復帰した症例について～妻の余命までに帰りたい～
吉崎 奈々(社会医療法人財団　白十字会　佐世保中央病院)

O79-03　動作自立カードの作成～トイレ自立となった症例について～
石黒 明子(医療法人瑞穂会　城南中央病院　リハビリテーション科)

O79-04　回復期リハビリテーション病棟退院から 2 年後に脳卒中後遺症のリコンディショニング入院で再度担当する機会を得た一症例について
六車 亮太(箕面市立病院　リハビリテーションセンター)

O79-05　当院における排泄ケアアプローチ
梅本 雄次(医療法人　博光会　御幸病院　リハビリテーション部)

一般演題(口述)プログラム　10 月 21 日(土)　第 3 会場

14:00 ～ 15:00　チームアプローチ　6

座長：井村沙織(医療法人共和会　小倉リハビリテーション病院)

O80-01　小脳梗塞からうつ病性亜昏迷を呈した事例への多職種チームアプローチ
～精神科リエゾンチームとの協働から～
米嶋 一善(京都民医連中央病院　リハビリテーション部)

O80-02　できる ADL としている ADL の乖離を減らす取り組み　-作業療法士と看護師の連携-
谷光 康浩(IHI 播磨病院)

O80-03　長期入院患者に対し多職種協働を意識した退院支援の取り組み
入江 真也(医療法人　悠紀会病院)

O80-04　障害高齢者における活動状況の経時的変化と対応方法に関する一考察
菊地 秀晴(医療法人社団　慶成会　青梅慶友病院　リハビリテーション室)

O80-05　がん終末期患者のリンパ浮腫に対するリハビリテーション介入によって明確となった意義と課題について
芹澤 健輔(横浜市立みなと赤十字病院　リハビリテーションセンター)

15:00 ～ 16:00　チームアプローチ　7

座長：井野美穂子(熊本リハビリテーション病院)

O81-01　患者中心のカンファレンスを目指して
～入院時カンファレンスから見えてきた当院回復期病棟の課題～
瀬尾 正美(武蔵嵐山病院　回復期リハビリテーション病棟)

O81-02　当院における退院後の電話・訪問調査の必要性を知る
江川 裕子(特定医療法人財団　博愛会　博愛会病院)

O81-03　明日に繋げる個人へのチームアプローチ～ニーズの実現に向けて～
久保 有菜(社会福祉法人真寿会　特別養護老人ホーム真寿園)

O81-04　お出かけしたい気持ちが強い方へのアプローチ～自分の居場所ができるまで～
北田 千晴(社会福祉法人真寿会　特別養護老人ホーム真寿園)

一般演題(口述)プログラム　10 月 21 日(土)　第 4 会場

9:00 ～ 10:00　介護予防・レク　1

座長：奥壽郎(大阪人間科学大学 人間科学部 理学療法学科)

O82-01 当院のレクリエーションと他院の比較～全国回復期リハビリテーション病院調査結果より～
眞壁 健太郎(錦海リハビリテーション病院)

O82-02 介護職が寄り添い活動を行ったことから得られたもの～夕方の関わりを通して～
岡本 直子(医療法人創和会　しげい病院)

O82-03 回復期リハビリテーション病棟での病棟集団体操を開始して
-職員アンケートから見えてきた効果と今後の課題-
鈴川 剛弘(医療法人光臨会　荒木脳神経外科病院　リハビリテーション部)

O82-04 ウォーキングセミナーを通じたインフォーマルサービスの効果
～高齢者の生活期における社会参加を目指して～
永井 優斗(医療法人社団永研会　永研会クリニック　リハビリテーション科)

10:00 ～ 11:00　起居・移乗・移動　4

座長：吉田史佐男(公益社団法人　信和会　京都民医連第二中央病院)

O83-01 GEAR の導入によって歩行能力が著明に改善した慢性期脳卒中の 1 症例
西田 工(地域医療機能推進機構　湯布院病院　リハビリテーション科)

O83-02 受傷前伝い歩きの大腿骨近位部骨折患者術後移動能力に影響する因子
木佐貫 圭介(雪の聖母会　聖マリアヘルスケアセンター　リハビリテーション室)

O83-03 回復期脳卒中片麻痺患者における本田技研製歩行アシストの使用効果
石田 晋ノ介(南東北グループ　医療法人財団　健貢会　総合東京病院 リハビリテーション科)

O83-04 機能障害が残存した脊髄震盪患者の 1 症例
西之原 隆宏(医療法人　吉栄会　吉栄会病院　リハビリテーション科)

O83-05 当院リハビリ介入患者における在宅復帰率について
森 雄紀(医療法人徳洲会　札幌東徳洲会病院　リハビリテーションセンター)

一般演題(口述)プログラム　10 月 21 日(土)　第 4 会場

11:00 ～ 12:00　起居・移乗・移動　5

座長：大田瑞穂(特定医療法人 社団三光会 誠愛リハビリテーション病院)

O84-01 回復期リハビリテーション病棟における大腿骨近位部骨折術後患者の退院時歩行自立と転入時評価の関係
福田 純(医療法人　社団シマダ　嶋田病院)

O84-02 手術が困難とされた重度弁膜症患者の術前・術後早期のリハビリテーション介入
諸永 浩平(医療法人社団　輝生会　船橋市立リハビリテーション病院　リハ・ケア部)

O84-03 脳卒中意識障害患者に対する発症早期の立位・歩行開始と FIM 効率の関連
田中 友理(医療法人　新さっぽろ脳神経外科病院　リハビリテーション科)

O84-04 在宅復帰につなげられた超高齢者へのリハビリテーションの介入効果
豊田 平介(セントラル病院松濤　リハビリテーション科)

O84-05 回復期リハビリ病棟から介護老人保健施設まで一症例を継続介入し気付いたこと
～リハビリ時間が減少しても歩行が自立した要因～
武田 俊一(医療法人社団　健育会　介護老人保健施設　ライフサポートひなた)

13:00 ～ 14:00　起居・移乗・移動　6

座長：田邉紗織(誠愛リハビリテーション病院)

O85-01 小脳出血手術後、長期ドレーン留置中に積極的に起立練習を行った一症例
加藤 隆裕(社会医療法人　雪の聖母会　聖マリア病院　リハビリテーション室)

O85-02 脳卒中片麻痺利用者の歩行速度と生活空間の関係について
勝俣 沙妃(医療法人社団永生会　介護サービス　スマイル永生)

O85-03 長期間の装具療法で装具歩行のスキルを獲得した症例
松井 孝之(第二成田記念病院　リハビリテーション室)

O85-04 当院訪問リハビリテーション利用者における生活空間の変化に影響を与える指標の検討
松本 浩一(医療法人財団健貢会　総合東京病院　診療技術部　リハビリテーション科)

O85-05 免荷式リフト POPO を使用したリハビリテーション効果の検討～第一報～
佐々木 貴恵(医療法人永広会　八尾はぁとふる病院)

一般演題(口述)プログラム　10 月 21 日(土)　第 4 会場

14:00 ～ 15:00　訪問サービス　4

座長：安井学(社会医療法人大道会　森之宮病院)

O86-01　訪問リハビリテーションにおいて転倒恐怖感の軽減により生活機能の向上につながった一症例
酒井 祥平(医療法人　伴帥会　愛野記念病院　リハビリテーション部)

O86-02　胃がんにより余命半年と宣告された症例の復職に向けた訪問リハビリテーションの関わりについて
中村 翔(訪問看護ステーションリライフ井口)

O86-03　訪問リハビリテーション利用により生活リズムが改善した一症例
～易転倒性で閉じこもり状態であった後期高齢者～
三好 健太(医療法人社団和風会　橋本病院)

O86-04　糖尿病による右下腿切断後，多職種連携による訪問リハビリテーションを実施し生活の再構築を図った認知症患者１症例の実践報告
竹内 章(宝持会　池田病院　訪問リハビリテーション事業所)

O86-05　訪問リハビリ利用者に対する活動・参加づくりのための画像の活用
村尾 彰悟(訪問看護ステーション　清雅苑)

15:00 ～ 16:00　訪問サービス　5

座長：橋本卓(社会医療法人敬和会　大分豊寿苑訪問看護ステーション)

O87-01　「その人らしさ」を支える　-訪問リハビリの利用で趣味活動を再開出来た１症例 -
高尾 愛子(社会医療法人 共愛会 あやめ訪問看護ステーション)

O87-02　訪問看護リハビリの修了に関する意識調査　～笑顔で終了出来る支援を目指して～
富久 直美(医療法人財団　博愛会　博愛訪問看護ステーションささおか)

O87-03　訪問リハビリテーション事業所新規開設に伴う取り組みと課題
宮口 憲昭(特定医療法人財団　博愛会　博愛訪問リハステーションささおか)

O87-04　在宅生活を可能にするもの～地域包括ケア病床を利用し、再び在宅生活が可能となった一例～
坂下 文美(いちき串木野市医師会立　脳神経外科センター　リハビリテーション部)

O87-05　当法人訪問リハビリテーションサービスにおける３年間の利用終了者分析
～事業所の取り組みとともに～
辰巳 茂樹(医療法人博仁会　福岡リハビリテーション病院　リハビリテーション部)

一般演題(口述)プログラム　10 月 21 日(土)　第 4 会場

16:00 ～ 17:00　訪問サービス　6

座長：福森恵子(医療法人　光心会　諏訪の杜病院)

O88-01　大腿骨近位部骨折患者における退院後の再転倒状況について

金丸 大地(社会医療法人財団　慈泉会　相澤病院　訪問リハビリテーションセンター)

O88-02　在宅失語症者の知的機能とニーズの関連性

松田 隆昌(医療社団法人　甲友会　西宮協立訪問看護センター)

O88-03　在宅生活を送る摂食嚥下障害者への支援について

安田 美智子(公立みつぎ総合病院　訪問看護ステーションみつぎ)

O88-04　訪問リハビリテーション従事者が末期癌家族の在宅介護とサービス利用者の立場を経験して

宮川 穂高(医療法人社団　豊信会　草花クリニック)

一般演題(口述)プログラム　10 月 21 日(土)　第 5 会場

9:00 ～ 10:00　義肢・装具・福祉用具　3

座長：山本直樹(兵庫県立リハビリテーション中央病院)

O89-01　脳卒中片麻痺患者にロボットスーツ HAL 自立支援用単関節タイプ（肘用）と促通反復療法を併用した効果
伊藤 圭祐(社会医療法人榮昌会　吉田病院附属脳血管研究所　リハビリテーション部)

O89-02　早期に装具処方を検討した１症例
風間 健二(医療法人社団　緑野会　みどり野リハビリテーション病院)

O89-03　自作車椅子シーティングクッションの臨床での実用性（ケーススタディ）
菅又 史明(特定医療法人　富田病院　リハビリテーション室　リハビリテーション係)

O89-04　介護支援専門員の下肢装具に対する理解
-生活期脳卒中片麻痺者の下肢装具に関するアンケート調査-
中 猛則(主体会病院　在宅医療福祉部)

O89-05　クッション変更時の痛みに対応して
正岡 佑次(老人保健施設 ミネルワ)

10:00 ～ 11:00　義肢・装具・福祉用具　4

座長：野口隆太郎(医療法人社団輝生会　初台リハビリテーション病院)

O90-01　生活機能の改善に対する下肢装具の効果～通所利用者の意識の変化より～
向井 悠貴(社会福祉法人介護老人保健施設いなば幸朋苑　リハビリ所属)

O90-02　生活期脳卒中片麻痺患者の装具・靴装着時間が外出頻度に及ぼす影響
佐藤 陽介(医療法人社団　苑田会リハビリテーション病院)

O90-03　重度片麻痺患者へ短下肢装具を作製しトイレ動作自立に至った１症例
吉田 大地(医療法人社団豊泉会　丸山病院)

O90-04　当院急性期脳神経外科病棟における福祉用具の活用
～発症後早期から福祉用具を活用する意義～
梶山 孝政(医療法人　慈光会　甲府城南病院　リハビリテーション部　作業療法科)

O90-05　生活期脳卒中患者に対する下肢装具の実態調査と再作製の取り組み
－当通所リハ利用者への装具再作製例の紹介－
成瀬 淳(財団法人　謙昌会　デイケアセンター　おらんど)

一般演題(口述)プログラム　10 月 21 日(土)　第 5 会場

11:00 ～ 12:00　摂食・嚥下・口腔ケア　4

座長：椎名英貴(社会医療法人大道会　森之宮病院)

O91-01 脳卒中症例における入院時の The Mann Assessment of Swallowing Ability と退院時経口摂食状況の関係
石田 直美(亀田総合病院　リハビリテーション室)

O91-02 MASA による経口摂取の可否と食形態の予後の検討
本川 怜奈(公益社団法人　北海道勤労者医療協会　勤医協中央病院)

O91-03 完全側臥位での早期経口摂取確立により座位での自力摂取が可能となった症例
村田 聖(公益社団法人　北海道勤労者医療協会　勤医協苫小牧病院)

O91-04 低栄養状態に陥った認知症患者に対し、環境調整を重視した嚥下アプローチが奏功した一例
末永 亜紀(JCHO 湯布院病院　リハビリテーション科)

O91-05 のみこみサポート入院を実施することによる食事条件の改善が QOL の向上に繋がった一例
長嶋 健介(松本協立病院　リハビリテーション科　)

13:00 ～ 14:00　摂食・嚥下・口腔ケア　5

座長：吉村美佳(公立みつぎ総合病院)

O92-01 吹き戻しを使った呼気トレーニングの効果
相川 佳代子(京都南病院　第二南診療所　訪問リハビリテーション)

O92-02 摂食嚥下訓練の自主訓練を継続する為に取り組んだ事　～訪問 ST の在宅支援への関わり～
原田 豊子(特定医療法人成仁会　くまもと成仁病院　リハビリ部)

O92-03 嚥下体操の効果(口腔内湿潤度の変化)
後藤 啓人(医療法人　平成博愛会　博愛記念病院)

O92-04 介護老人保健施設における The　Man Assessment of Swallowing Ability(MASA)の導入と検討
樋口 彰(社会医療法人青洲会　福岡青洲会病院　リハビリテーション部)

O92-05 喉頭気管分離術を施行した症例の術後の満足度について
黒木 里沙(医療法人かぶとやま会　久留米リハビリテーション病院　)

一般演題(口述)プログラム　10 月 21 日(土)　第 5 会場

14:00 ～ 15:00　医学管理　10

座長：赤津嘉樹(医療法人共和会　小倉リハビリテーション病院)

O93-01　「言語訓練×強み」が QOL を向上させた一症例
池尻 幸司(医療法人社団樹人会　北条病院　リハビリテーション科)

O93-02　ボツリヌス毒素 A 療法の効果について～下腿底屈筋群の痙縮程度に着目して～
益田 賢太朗(医療法人社団　行陵会　京都大原記念病院)

O93-03　転倒ハイリスク高齢者の早期発見方法の開発に向けた取り組み
―不安定板を用いた動的バランス測定による検討―
秋月 千典(目白大学　理学療法学科)

O93-04　脳卒中後の上肢痙性麻痺における超音波画像の検討
古閑 清美(熊本託麻台リハビリテーション病院)

O93-05　リハビリ拒否の強い患者に対し病棟での生活へのアプローチにより ADL に回復が見られた一例
片平 翔(初台リハビリテーション病院)

15:00 ～ 16:00　医学管理　11

座長：徳永能治(長崎県島原病院)

O94-01　骨盤底筋群トレーニングにより過活動膀胱の改善が見られた一症例
瀬戸 景子(医療法人社団　永生会　南多摩病院　リハビリテーション科)

O94-02　心疾患患者における QOL 評価からみた当院の現状と課題
萩野谷 哲秀(三郷中央総合病院　リハビリテーション技術科)

O94-03　ﾀﾞｲﾅﾐｯｸｽﾄﾚｯﾁ実施時の速度･回数がﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽに与える影響
春木 健太(きたじま倚山会　きたじま田岡病院　リハビリテーション科)

O94-04　変形性膝・股関節症患者に対する新規栄養管理法 たんぱく質付加ダイエット法の検討（第 2 報 退院後のアンケートからの考察）
長久 麻依子(兵庫県立リハビリテーション中央病院　栄養指導室)

一般演題(口述)プログラム　10 月 21 日(土)　第 6 会場

9:00 ～ 10:00　栄養・NST　1

座長：冨士井睦(兵庫県立リハビリテーション中央病院)

O95-01　食を通じた患者のＱＯＬ向上について　～いつもと違う昼食～
鍵原 美和(附属三宅リハビリテーション病院)

O95-02　当院回復期リハビリテーション病棟入院患者における嚥下体操と喫食率の関係について
喜多 一馬(北大阪けいさつ病院　リハビリテーション技術科)

O95-03　回復期リハビリテーション病棟の FIM 利得に影響を及ぼす栄養情報
森谷 伸樹(医療法人喬成会花川病院リハビリテーション部)

O95-04　当院回復期リハビリテーション病棟入院中の廃用症候群患者における栄養変動と FIM の関連
平岡 拓也(医療法人社団　淡路平成会　平成病院)

O95-05　高たんぱくの栄養介入が腎機能の悪化なく栄養状態と筋力の改善をもたらした慢性腎不全を有する脳幹部出血の一例
星野 阿津佐(社会医療法人若弘会 わかくさ竜間リハビリテーション病院 医療技術部 栄養課)

10:00 ～ 11:00　栄養・NST　2

座長：土井千代美(アマノリハビリテーション病院)

O96-01　胃瘻造設後、喫食量の増加と栄養状態・筋力・覚醒の改善がみられた超高齢患者の一症例
江里口 百香(社会医療法人 若弘会 わかくさ竜間リハビリテーション病院 医療技術部栄養課)

O96-02　回復期脳卒中者の四肢の筋肉量に運動を併用した BCAA 摂取が与える影響
首藤 武(独立行政法人　地域医療機能推進機構　湯布院病院　リハビリテーション科)

O96-03　回復期病院へ転院となる患者の望ましい栄養管理とは？
木倉 敏彦(富山県リハビリテーション病院・こども支援センター　内科)

O96-04　栄養状態及び身体機能向上に難渋した症例の報告～多職種での NST の取り組みと連携～
長内 祥太郎(医療法人社団　緑野会　みどり野リハビリテーション病院)

O96-05　当院回復期リハビリテーション病棟患者の食事摂取量が筋肉量に与える影響とリハビリ効果との関連性について
後藤 洋平(医療法人社団光仁会木島病院)

一般演題(口述)プログラム　10 月 21 日(土)　第 6 会場

11:00 ～ 12:00　栄養・NST　3

座長：髙山仁子(医療法人社団寿量会　熊本機能病院)

O97-01　くも膜下出血術後に栄養管理にて難渋した症例
岩田 巧(医療法人社団　函館脳神経外科病院　リハビリテーション科　理学療法課)

O97-02　地域包括ケア病棟における高齢入院患者の栄養状態と食事摂取量が ADL に与える影響
安中 聡一(一般財団法人　太田綜合病院附属太田西ノ内病院　理学療法科)

O97-03　短時間型通所リハビリテーションにおけるＢＣＡＡ含有栄養剤と運動療法の効果
～週１,２回の栄養剤摂取が与える影響について～
清水 淳也(医療法人栄昌会　吉田病院　附属脳血管研究所　リハビリテーション部)

O97-04　訪問リハビリテーション利用者における栄養状態の把握と関連について
阿部 真理子(咲くら訪問リハビリセンター)

O97-05　重症 COPD 患者における入院での栄養療法と栄養指導が効果的であった１症例
武河 あずさ(社会医療法人生長会　阪南市民病院　診療技術部　栄養管理室)

13:00 ～ 14:00　地域づくり　4

座長：嶋田芳彦(医療法人永広会　島田病院)

O98-01　より良い地域リハビリテーション活動支援事業を行う為に
～リハビリテーション専門職に求められている事～
前田 朝美(医療法人双葉会　西江井島病院　リハビリテーション科)

O98-02　熊本地震での周辺地事業所の地域での取り組みと学び
河添 竜志郎(株式会社　くますま)

O98-03　地域リハビリ―テーション活動支援事業におけるリハ専門職の役割と介入効果
永徳 研二(杵築市立山香病院　リハビリテーション科)

O98-04　認知症カフェにおける専門職の役割について
～認知症カフェを運営する専門職へのアンケート調査～
加藤 太一(医療法人社団哺育会　桜ヶ丘中央病院　リハビリテーション科)

O98-05　地域包括ケアシステムの推進に向けた取り組み～認知症カフェの活動を通して～
渋谷 晋太郎(公立みつぎ総合病院)

一般演題(口述)プログラム　10 月 21 日(土)　第 6 会場

14:00 ～ 15:00　地域づくり　5

座長：山元顕太(京都府 健康福祉部 リハビリテーション支援センター)

O99-01　地域でのリハ専門職の役割ー２年間の講師派遣事業を経験してー
木野田 典保(東京都南多摩保健医療圏地域リハビリテーション支援センター)

O99-02　「当院の HAL を活用した取り組みについて」
市村 公(医療法人永広会　八尾はぁとふる病院　)

O99-03　元気はつらつ教室の取り組みについて
藤井 俊文(社会福祉法人　いずみ福祉会)

O99-04　通所リハビリ卒業者＆地域のサロン開設に向けて
吉田 卓(竹川病院　通所リハビリテーションセンター)

O99-05　地域包括ケアシステムに向けての取り組み～リハ関連職種の連携を通じて～
阿座上 広希(医療法人社団　緑野会　みどり野リハビリテーション病院)

15:00 ～ 16:00　病棟・組織運営　4

座長：梶村政司(中国電力（株）中電病院)

O100-01　生活期脳卒中患者に対する reconditioning 入院の取り組み
吉永 邦彦(箕面市立病院リハビリテーションセンター)

O100-02　他職種で実践する地域包括ケア病棟への取り組み　課題と改善に向けて
浅倉 英美(熊谷生協病院)

O100-03　当院結核病棟におけるリハビリテーション課の取り組みについて～心身機能に着目して～
阿部 泰成(特定医療法人　茜会　北九州市立門司病院　リハビリテーション課)

O100-04　介護職員の働きやすい職場環境を目指して～ストレス環境調査から～
片岡 智恵子(社会医療法人財団　白十字会　燿光リハビリテーション病院)

O100-05　院内レンタル実用化に向けた取り組みと現状、今後の展望
末平 将也(医療法人　光臨会　荒木脳神経外科病院　リハビリテーション部)

一般演題(口述)プログラム　10 月 21 日(土)　第 7 会場

9:00 ～ 10:00　通所サービス　3

座長：田原公彦(医療法人社団三友会いしかわ内科)

O101-01　当通所介護において多職種による自己効力感への介入が活動と参加に繋がった一症例
城内 洋人(JR 西日本グループ　ポシブル医科学株式会社　ポシブル高の原)

O101-02　生活行為向上リハビリテーション(以下生活行為リハ)にて地域活動主催に至った一例～生活不活発から定期的な地域活動主催へ～
高木 宜謙(医療法人　三井会　神代病院)

O101-03　通所リハビリを利用する要支援・要介護高齢者の違いと特徴
高橋 一馬(洛和会　洛和デイセンターイリオス)

O101-04　「自宅でのシャワー浴獲得」からの活動性アップへの支援
片倉 幸子(社会福祉法人　農協共済　別府リハビリテーションセンター)

O101-05　リハビリテーションマネジメント加算２が要介護度の改善に与えた影響
田中 千尋(公立丹南病院　通所リハビリテーションセンター　なごみの里)

10:00 ～ 11:00　通所サービス　4

座長：谷口理恵(社会医療法人敬和会 介護老人保健施設 大分豊寿苑)

O102-01　通所リハビリ利用者における冬期間の活動と心身機能の変化について
山田 耕平(社会医療法人　医翔会　札幌白石記念病院　リハビリテーション部)

O102-02　チャレンジ！地域活動へ参加！～みんなに会えるかもしれない～
喜友名 朝博(医療法人タピック　沖縄百歳堂デイケアセンター)

O102-03　循環器疾患を有する通所リハビリ利用者の運動耐容能について
山下 達也(札幌白石記念病院　リハビリテーション部)

O102-04　段階的な支援により、旅行という目標を達成できた事例
大川原 明香(一般財団法人　脳神経疾患研究所　南東北通所リハビリテーションセンター)

O102-05　集団作業活動に主体的に参加することで自己効力感が向上した一例
佐々木 詩織(特定医療法人社団　勝木会　やわたメディカルセンター)

一般演題(口述)プログラム　10 月 21 日(土)　第 7 会場

11:00 ～ 12:00　通所サービス　5

座長：梅野朋美(一般社団法人共生の会　デイサービスセンターぽれぽれ)

O103-01　進行性難病を抱えた利用者への在宅支援～退院後の集中的介入に効果があった一事例～
一万田 幸代(社会医療法人　関愛会　こうざき　デイケア・リハビリテーションセンターもみの木)

O103-02　短時間型デイケアにおける、要支援者の自立支援と業務の効率化の両立
～取り組みに伴う利　用者の身体機能の変化～
今井 陽平(特定医療法人財団　博愛会　博愛会地域リハビリテーションセンター　Vigor club)

O103-03　脳トレーニングソフト脳ポチのデイサービスでの有用性と課題
藤野 文崇（株式会社ソフトアップJ　福祉事業部　エントレリハ）

O103-04　通所リハビリテーションにおける短期集中リハビリテーションの効果
森口 朱里(介護老人保健施設セントラルゆうあい)

O103-05　家族と共依存関係の 40 歳代男性―環境の再考から自助努力への転進を目指した一事例―
小西 兼二(医療法人　南の風　通所リハビリテーション　みなみの風)

13:00 ～ 14:00　人材育成　3

座長：渡邉亜紀(社会医療法人敬和会 大分リハビリテーション病院)

O104-01　リハビリ病院における介護福祉士による介護過程の展開
～2 年間の研修と実地指導を通して～
山中 政代(宝塚リハビリテーション病院)

O104-02　介護士の経過記録の現状と今後の課題
武石 周三(医療法人社団 久英会　高良台リハビリテーション病院)

O104-03　当院の新人教育プログラム～実際と結果～
近藤 克征(医療法人清水会　京都リハビリテーション病院)

O104-04　安全に移乗しよう　～理学療法士と介護士の視点の違い～
大塚 猶貴(医療法人社団　坂梨会　阿蘇温泉病院)

O104-05　当院理学療法士が実施したホームヘルパー対象の介助研修を通して
荒尾 賢(岡山リハビリテーション病院　リハビリテーション部)

一般演題(口述)プログラム　10 月 21 日(土)　第 7 会場

14:00 ～ 15:00　人材育成　4

座長：泊津義代(医療法人共和会　小倉リハビリテーション病院)

O105-01　ワークショップ形式 FIM 講習による ADL 分析・情報共有教育教育目標達成期間の観点からは一方向性形式よりも有効である可能性がある

三石 敬之(社会医療法人緑泉会　米盛病院)

O105-02　回復期リハビリ病棟の地域連携を意識した認知症ケア研修の妥当性の検討

松本 弘乃(赤羽ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ病院)

O105-03　ナーシング・スキルの活用により、看護サービスの標準化を目指す
～知識と技術更新の動機づけ～

池田 晴美(亀田リハビリテーション病院)

O105-04　移乗介助で看護師が示す患者教育専門家としての態度
～理学療法士が行う専門的移乗技術を習得した看護師が醸し出す PLC～

永野 伸子(医療法人社団生和会　彩都リハビリテーション病院　看護部)

O105-05　多職種協働を円滑に行うための取り組み

河岸 真子(IHI 播磨病院)